

建設物価 建設資材物価指数[®] 2023年10月分 【速報】

建設物価 建設資材物価指数は、建設資材の総合的な価格動向を明らかにすることを目的に作成されており、その対象を建設工事で直接的に使用されている建設資材に限定した物価指数です。なお、本指数は2015年平均を100として算出しています。

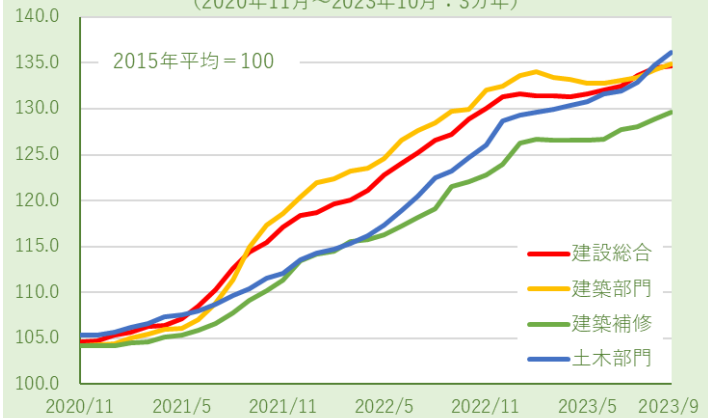
1. 指数の動向（全国平均）

建設総合(全国平均)で**134.6**と前月比+0.2ポイント(+0.1%)と、5ヵ月連続で最高値を更新した。前年同月比では+5.7ポイント(+4.5%)。部門別では、**建築部門**が**134.9**と前月比+0.1ポイント(+0.1%)、**建築補修**が**129.7**と前月比+0.1ポイント(+0.1%)、**土木部門**が**136.6**と前月比+0.4ポイント(+0.3%)となった。

窯業・土石製品、他の製造工業製品、非鉄金属、金属製品等の6分類がプラスに寄与した。窯業・土石製品はコンクリート製品、非鉄金属は電線・ケーブル、金属製品はボルト・ナット類などが主なプラス寄与品目である。一方、マイナス寄与は、石油製品・舗装材料、鉄鋼、紙・木製品の3分類であり、石油製品・舗装材料はガソリン・軽油、鉄鋼は鋼管が主な品目である。

建設資材物価指数【全国平均】

(2020年11月～2023年10月：3カ年)



2. 前月比寄与度（大分類別・全国平均）

プラス寄与

【窯業・土石製品】コンクリート製品

セメントなど原材料の値上がりや輸送コストの増加を背景とした値上げが各地で浸透し、プラスに寄与

【非鉄金属】電線・ケーブル

銅建値の上伸と輸送コストの増加を背景に打ち出したメーカーの値上げ額の一部が浸透し、プラスに寄与

マイナス寄与

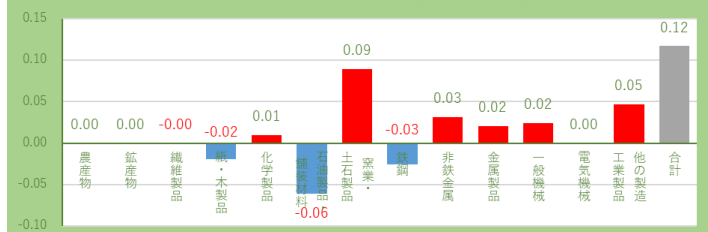
【石油製品・舗装材料】ガソリン、軽油

激変緩和補助金の拡充により元売りの仕切価格が引き下げられ、全油種で下落し、マイナスに寄与

【鉄鋼】鋼管

需要低迷を背景とした流通業者間の価格競争から安値販売も散見されるなど、市況の下落がマイナスに寄与

建設総合 前月比寄与度【全国平均】



建設総合 前年同月比寄与度【全国平均】



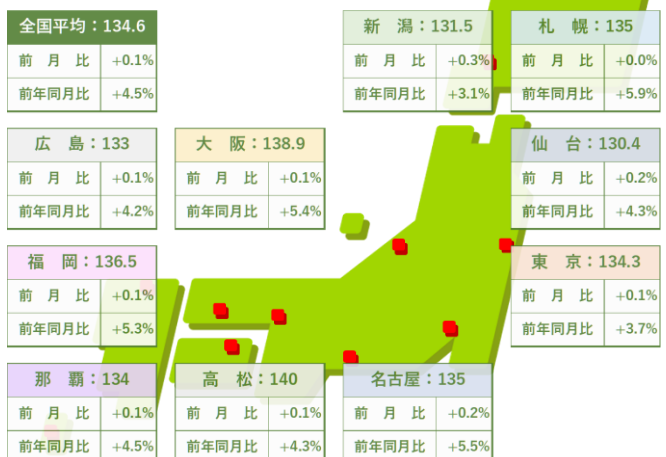
3. 都市別の動向（建設総合部門）

前月からの指数動向を都市別にみると、**【新潟】**(前月比+0.3%)では、燃料油や鋼管などの資材価格の下落が指数動向にマイナス寄与したものの、県内の一部の地域において、製造コストの増加を背景とした生コンクリートの値上げが浸透したことにより、地域全体としては前月比でプラスとなった。

【仙台】(同+0.2%)は、原材料の値上がりや輸送コストの増加を販売価格に転嫁した値上げが市場に浸透したことにより、道路用コンクリート製品の価格が上伸し、プラスに寄与した。

【名古屋】(同+0.2%)では、セメント価格の大幅上伸を背景とした、連節ブロック、法枠ブロックなどコンクリート製ブロックが上伸し、プラスに寄与した。

各地の建設総合部門の指数【10月分】



一般財団法人
建設物価調査会

【指数に関するお問合せ先】

総合研究所 経済研究課 担当：若澤

TEL：03-3663-7235 E-mail：econ@kensetu-bukka.or.jp

【資材価格に関するお問合せ先】

調査統括部 調査統括課

TEL：03-3663-3892 E-mail：toukatsu@kensetu-bukka.or.jp